

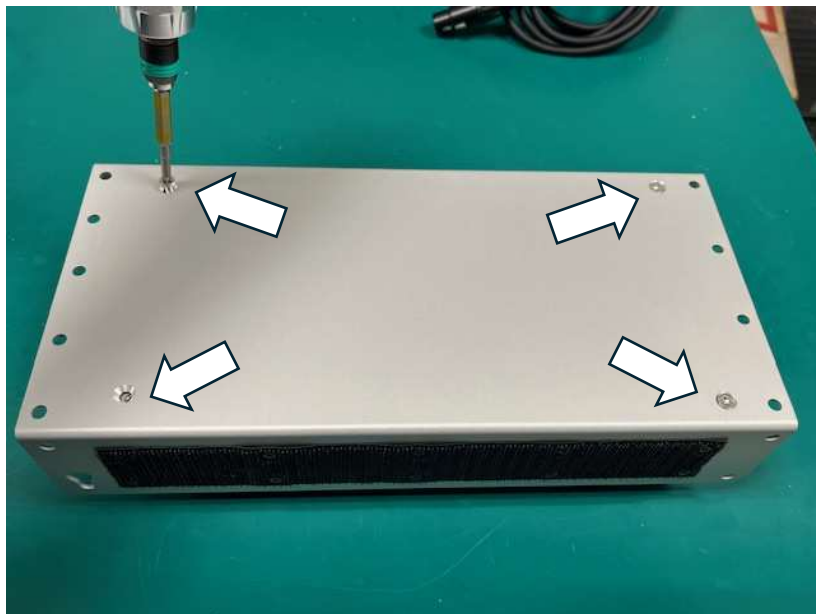
1. 準備

- ・ FM-A
- ・ ドライバー:T20
- ・ EMI アップグレードキット
フェライトコア:12個
EMI 対応ケーブル:1個



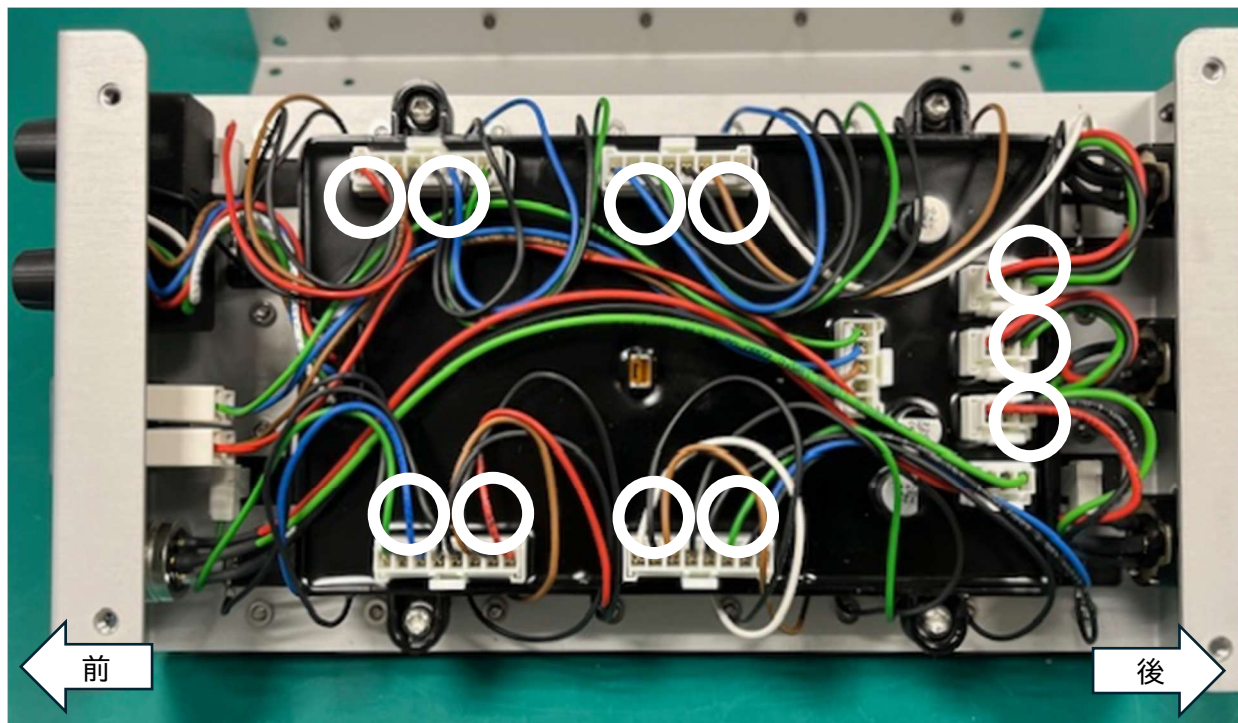
*複数台処理を行う場合、フェライトを12個に分けて用意すると付け忘れなどの作業誤りが減少します。

2. ケースを開ける



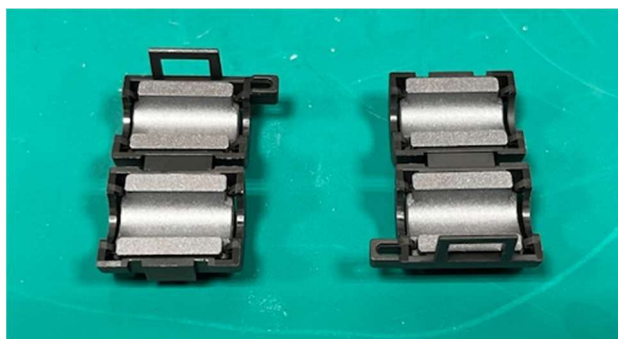
T20ドライバーで FM-A の裏面にある4本のネジを取りはずします。

3. アップグレードキットの取付け

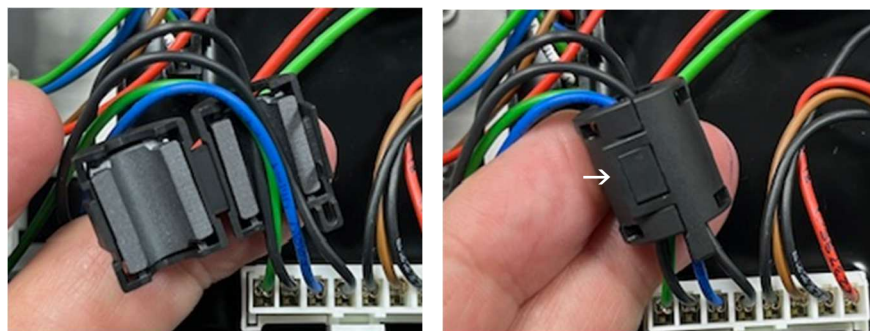


初めに 11 個のフェライトコア取り付けます。

○の部分、発火プラグに向かうコネクタ付近に 8 個、スレーブ接続のコネクタ付近に 3 個取り付けます。



フェライトコアに左右はありません。
 どの方向に取付ても効果は同じです。
 ケーブル間の取付位置も効果に影響はありませんが、ケースを閉じる際に他の部品との干渉を抑えるため、できるだけ本資料に準拠する位置に取付けてください。



フェライトコアの取付はケーブルを中心に通しはさまないようにセットし、閉じる際はとめ具がパチッとハマりはずれないようように取付けます。

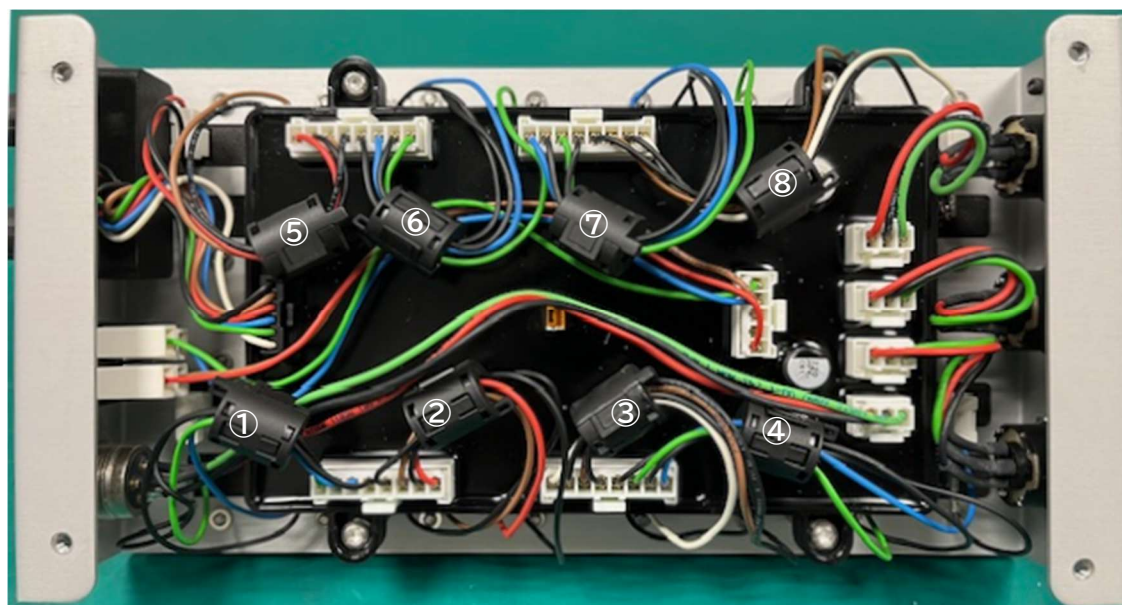


点火プラグへのコネクタは 8 本のケーブルが出ています。左右 4 本をまとめフェライトコアを取付けます。



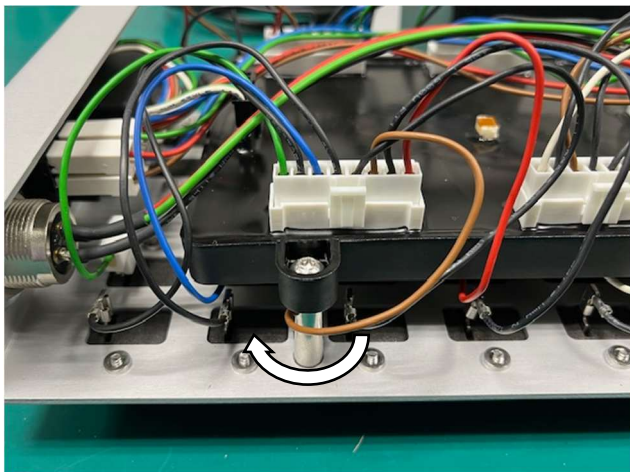
1 コネクタに 2 個、コネクタが 4 か所あるので計 8 個のフェライトコアを取付けます。

フェライトコアは内側の隙間に格納します。

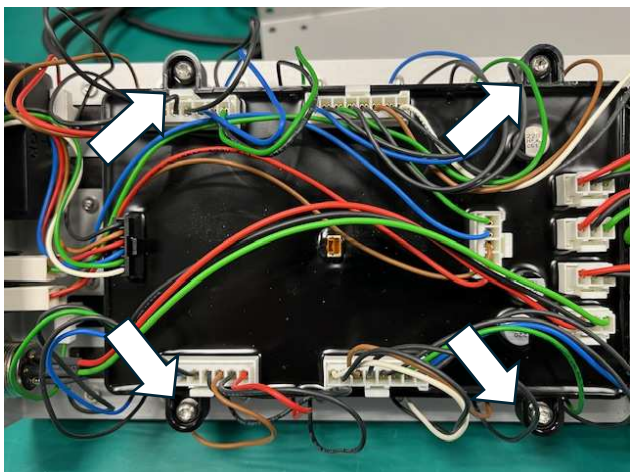


注意：まれにケーブルが今回の作業に適さない経路で配線されていることがあります。

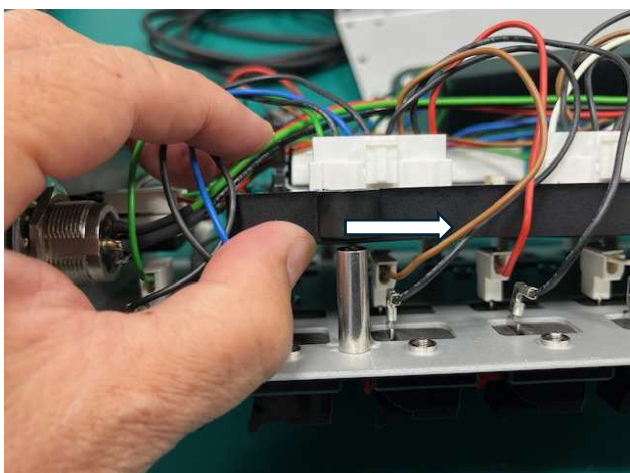
この場合、無理をせず基盤部分のネジをゆるめケーブルの経路を変更してからフェライトコアを取付けることもご検討ください。



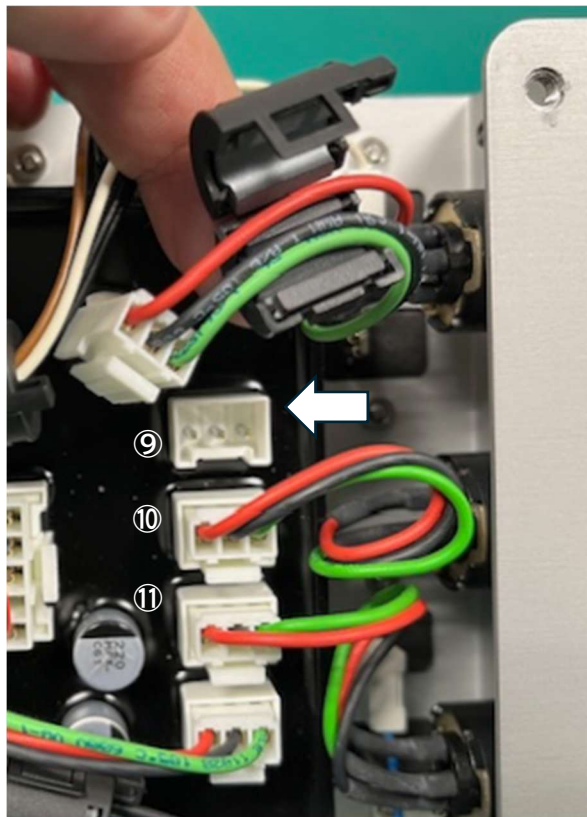
このケースでは、茶色のケーブルが基盤を固定する支柱の左から配線されているため遊びがなくフェライトコアの取付けが難しい。



左下のネジを外しそれ以外の3つのネジを十分に緩めます。

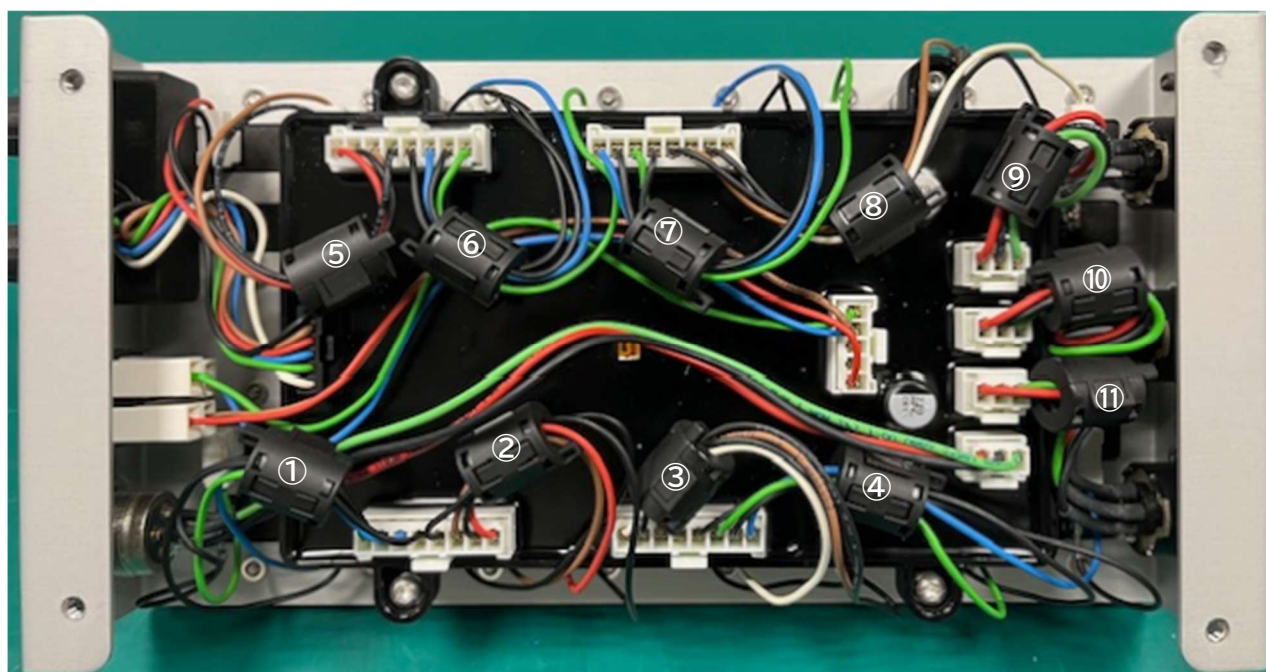


基盤を上げてケーブルを適切な経路に移動した後、ネジをもとのように締めます。



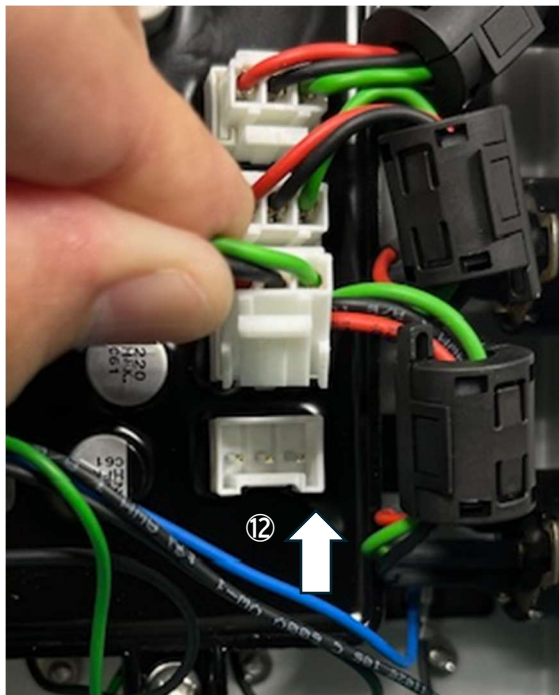
次にスレーブ接続の外部出力端子に接続している 3つのコネクタのケーブルにフェライトコアを取付けます。
コネクタを外すとフェライトコアを取付けやすくなります。

ケースを締める際に干渉しやすい部分になりますので、すき間に収まるよう適切な位置に取付けてください。



11 個のフェライトコアの取付が完了しました。

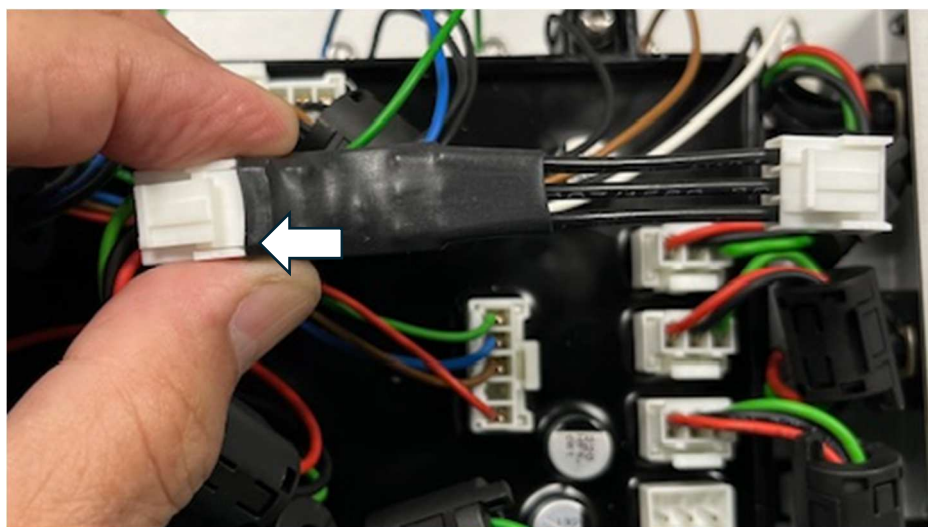
最後に入力端子に EMI 対応ケーブルとフェライトコアを取付けます。



スレーブ接続でフェライトコアを取付けた下、4 番目のコネクタをはずします。



はずしたケーブルにフェライトコアを取付けます。

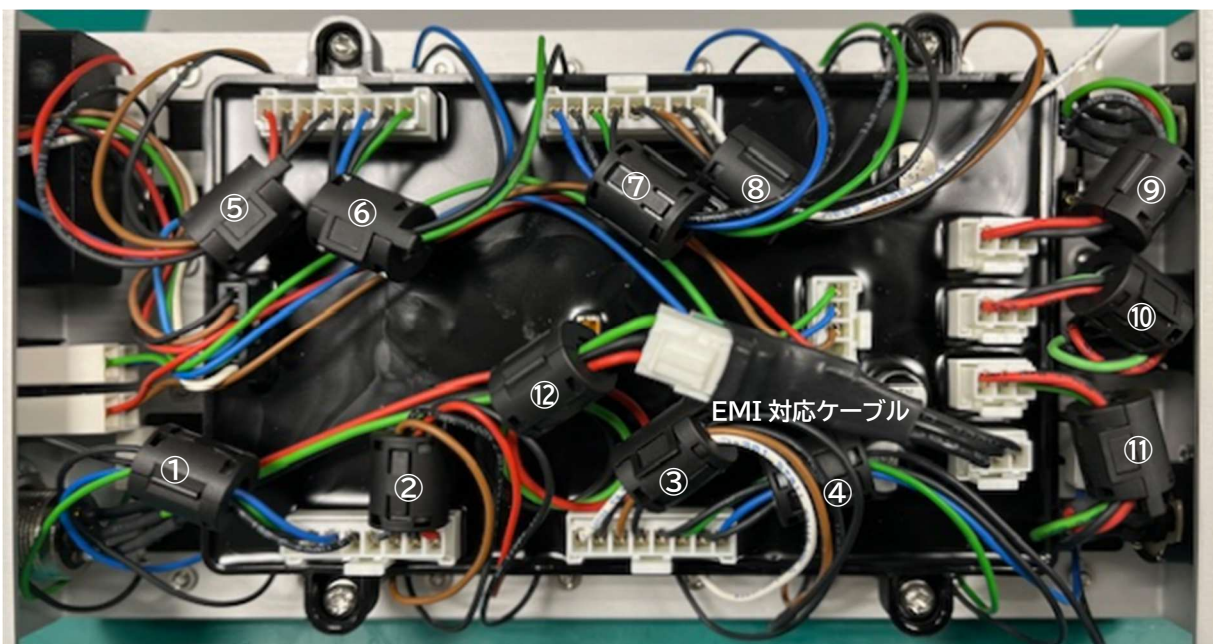


EMI 対応ケーブル(黒いカバー側)を取り付けます。



ケーブルが長くなるためねじり、輪を作ってからもとのコネクタに差し込みます。両端ともはずれ防止のフックはしっかりとまる位置まで差し込んでください。

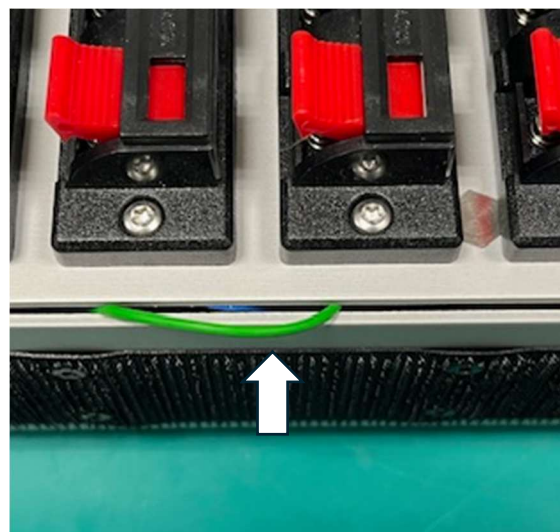
アップグレードキットすべての取付が完了しました。
部品の間隙に収まるようフェライトコアを注意して配置してください。
また、ケーブル類もはみ出さないよう内側に寄せてください。



4. ケースを閉じる

2. ではずした 4 本のネジを止めケースを閉じます。フェライトコアの干渉で若干締めづらくなるため、4 本のネジを軽く止めてから本締めすると作業がしやすくなります。

ケースに機材取付用の穴がある方が前(ダイヤル側)になります。反対に取り付けるとネジ穴位置が異なるためネジ止めすることはできません。



ケースを閉じる際にケーブルをはさまないように注意してください。

以上で EMI アップグレードキットの取付は終了です。
お疲れさまでした。

以上